



# 若小便り



若松小HP用QRコード

令和3年度 若松小学校便り第9号 令和3年12月23日(木) <http://wakamatu.lolita-punk.jp/>

令和3年度重点教育目標 「自尊感情を高め、自ら学び、考え、行動する子どもの育成」

## 二学期の終わりに / The Best Is Yet To Come by Larry Lee 1982

校長 本谷 弘之

早いもので、令和3年（2021年）もあと数日でおしまいになります。先日、年末の定番でもあるベートーヴェンの第九を聴きながらこの一年を思い返していました。在校生を強く暖かい指導力で導いてきた2名の卒業生が巣立ち、5人の子ども達で迎えた新年度。閉校の年ということで、様々な行事を含む新たな教育活動を取り入れながら、11月の閉校式を終えるまで辿り着きました。例年より多い行事への対応で子どもたちもずいぶん疲労や心労がたまっていたのでしょうか。この12月は、この1年で一番子どもらしい明るさや笑顔が見られるようになったように思います。それでも、この1年の思い出は、きっと、目には見えなくとも子どもたちの大きな成長に繋がっているはず。3学期は、余裕を持って最後の日まで過ごさせてあげたいな、と思う気持ちはありますが。。

ジャズコンサート（詳細は別ページ）の数日後、音楽の芸芸講師をして下さっている原先生とお話していたら、「あのバンドのピアノの方の楽譜をみたら、メロディがほんの少し書いてあるだけなんですよね。」と驚いていました。ジャズは即興の音楽。クラシックのように楽譜に書かれている音符や指示、そして作曲者の生い立ちや作曲された時代背景から楽譜に記された以上の作曲家の意図を解釈し、楽譜に忠実に演奏しようとする音楽とは異なります。ジャズは、曲名が同じでも、メロディが同じだけで、メロディに付随する伴奏や、個々の楽器のソロまで、演奏者の個性によって全く異なる演奏となる音楽です。目の前にいる観客の反応、その時に一緒に演奏しているメンバー、他のメンバーのソロによって、触発し合い、どんどん変化する音楽なので楽譜に書き表してはいられません。だからといって、適当に音を出しているわけではなく、きちんと一つ一つのコードに則したスケール（音階）が存在し、そのスケールから外れない音を選びながらコード進行に沿って演奏しなければ、調子外れの音楽になってしまいます。また、同じ曲でも、アレンジを変えることで、全く異なる印象の曲に聞こえるようにも変化しますが、これはジャズだけではありませんね。

よく若い頃、「先生って毎年同じ事してればいいから楽な仕事だよな」と言われたものです（さすがに最近では聞かなくなりましたが）。確かに、同じ学年を担当すると学習する内容や毎年の大きな行事は同じものとなりますが、これもジャズの楽曲に例えることができます。同じ曲でも伴奏やソロが変化するように、教育も、子どもが変わればその子の理解度によって、指導方法や学習教材を変えて対応します。そして、子どもの興味・関心を惹くために指導内容をアレンジします。学校行事の指導方法についても同じです。毎年同じ指導ができたり、「前と同じようにやってみて」と子どもに任せることもありますが、多くは前の年の反省をもとに、毎年少しずつ、よりわかりやすく、よりいいものに、と変化させることが教育です。この個々の違いによって、というところがいかにもジャズっぽくありませんか？でも、ジャズや教育の話だけでなく、全てにおいて大切なことがあります。「そば打ち体験」の日に、そば道場のKさんが、噛みしめるようにお話してくださいました。「何をやるにしたって、最低限の基礎・基本は身に付けなければいけない」と。私たちはこのための義務教育を今行っています。

最後に、皆様が健やかに新年をお迎えになることを祈念するとともに、3学期もより一層のご支援・ご協力をよろしく願っています。

※ 1982年に、アメリカのソングライター-Larry Lee(ラリー・リー)が発表した、未だにAORの名盤としてあげられる「Marooned(邦題:ロニー・フリーウェイ)」からの1曲で、アルバムは爽やかな名曲揃い。この曲は彼の曲ではないですが、彼のけだるいボーカルに絡むサクソが素敵なバラードです。2学期は終わりますが曲名どおり若小は「まだまだこれから」です。

# 2学期学校行事からみる学校経営について

2学期も様々な教育活動を行ってきました。

その中の一部をあげると

8/24～25 職場体験

8/26 夏休み体験発表会、瀬棚海上保安署視察研修「海の学習」

9/1 地震時避難訓練

9/7 タスマニアオンライン交流（10/26にも）

9/22 パワーアップ集会

9/24 稲刈り

9/28 交通安全啓発活動

10/10 学習発表会

10/21 森林教室（炭焼き）

10/29 不審者対応教室

11/9 収穫感謝祭

11/20 若松小学校閉校記念式典

11/26 5・6年東京都府中市立若松小学校オンライン交流

12/3 2・3年兵庫県尼崎市立竹谷小学校オンライン交流

12/4 親子で聴くミニ・コンサート

12/12 日曜地域参観日、そば打ち体験



これらの取組は、年度当初に示した若松小学校学校経営のグランドデザイン内にある「**学びを育む**」「**体を育む**」「**心を育む**」「**地域と育む**」の中の具体的実践自校に繋がるものです。

これまでも何度か紹介したオーストラリアとのオンライン交流の他に、東京都や兵庫県の小学校ともオンライン交流を行い、それぞれの地域の生活の違いについて直接紹介していただくなど、**GIGASKRUEL構想**に関する進展がありました。また、中学生の職場体験の受け入れや瀬棚海上保安署の視察などは、**キャリア教育**に、パワーアップ集会や、毎週行っているスペ水などは、子どもたちが行う**いじめの未然防止**に、と、それぞれに目的・ねらいを持って行ってきました。

東京の子どもたちが「うらやましい」と自校の先生方に訴えていたのが、豊富な**体験活動**です。コロナ禍であっても、児童数が少ないことから、感染対策をしっかりと行えば全て実現可能となりました。そこにつけこんで、これまで行ったことのなかった「夏の縁日」や「親子で聴くミニ・コンサート」「そば打ち体験」など、授業に差し支えない時間を使って**子どもたちの思い出作り**の機会を増やしてきました。これは、保護者や卒業生、学校関係者の方にも参加いただき、喜んでいただくことができました。

このように、それぞれに個別の目的があって行っている教育活動ですが、本校教職員が年度当初から話し合い、これらの全てに共通させていることが

**子どもたちが若松小学校を離れても困り感を抱かないようなコミュニケーション力の育成**をねらい、積極的に外部の方たちと関わる機会を設けるということでした。

3学期は、もう一息、自ら積極的に挨拶できる子にすることを最終目標にしています。

# 親子で聴くミニコンサート



## 素敵な思い出ができました

12月4日（土）は、子どもたちと保護者、教職員、そして一部学校関係者をご招待して「親子で聴くミニコンサート」を開催しました。今年4月に函館で活躍するジャズ・バンドにアプローチした



ところ、「閉校する学校の子供達の思い出作りのために」とご快諾いただき、実現できました。「なぜジャズなのか」というのは、クラシックは学校で今後聴く機会があるだろうし、ロックやポップスは将来自分から観に行きたいと思う可能性が大きいけれど、ジャズという音楽は、知らなければ自分からはなかなか入り込めない音楽だと思ったからです。

この日は、体育館を半分程度に区切った会場を、お母さん方がクリスマス仕様に飾り付けしてくださり、小さなテーブルをイスが囲み、フリードリンク制のジャズ・バーを思わせるとってもいい雰囲気になっていただきました。

前座として子どもたちが「365日の紙飛行機」を器楽演奏し、バンドの方々の本格的なジャズ演奏が開始です。途中で音楽の技芸講師で来ていただいている原先生がピアノを弾いて、トランペットやサクソとのデュオ演奏を交え、「サテン・ドール」や「A列車で行こう」などジャズのスタンダードを中心に、クリスマスソングや若松小校歌のジャズアレンジ版まで登場し、とっても楽しい演奏を聴かせていただきました。最後には、若小の子どもたちの演奏する「イマジン」にバンドメンバー全員が即興で参加して大盛り上がるの2時間となりました。この「イマジン」の演奏は本校HPにアップしていますのでぜひご覧になって下さい。



# 日曜地域参観日と「そば打ち体験」

## 美味しいおそばを食べさせていただきました

12月12日（日）は、日曜地域参観日として、1・2時間目は学校での授業を公開しました。2・3年生は、1時間目に複式の算数の授業でしたが、5・6年生は、1・2時間目で教科を変えてMESHという教材を用いたプログラミング学習、2・3年生は2時間目に英語でプログラミング・カーを用いたプログラミングの授業でした。その後、全員でイエローパレスに移動して、H町内会長をはじめ、せたなの



そば道場の方々にお手伝いいただき、子どもたちに「そば打ち体験」をさせていただきました。自分達で粉を練って丸めて伸ばし、包丁で細く切ったそばは、ふだん食べているそばと違い、格別美味しかったことでしょう。そば道場の皆さん、どうもありがとうございました。



さて、7月号に続き、正田先生の登場です。今月からは正田先生と青木先生が交互にこのコラムを担当しますので楽しみに。

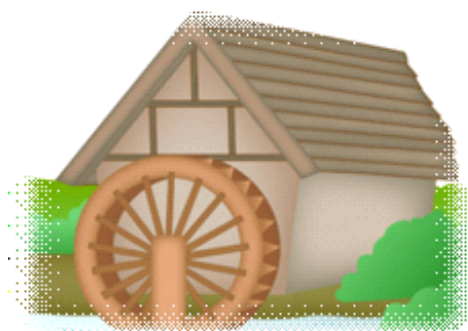
正田先生がお城好きだったというのは、私もこのコラムをお願いするまで知りませんでした。英語はペラペラだし、日本の歴史には詳しいし、最近の ICT 教育にも堪能だなんて、多彩な先生なんですね。

## 歴史を訪ねて

5・6年担任 正田直之

城めぐりで歴史に興味をもった私は、ある日の夕方、「郡上八幡城に行こう」と車を発進させた。到着したときには、すっかり暗くなり、城下町で宿泊をした。部屋でくつろぎ、「そもそも出発するころに城の閉館時間だよな」とつぶやきながら、ふと、窓の障子を開けると、満月と郡上八幡城が見えるではないか。これまで日帰りで八幡城を訪れたことはあったが、これほど綺麗に、堂々とした八幡城を見たことはなく感動した。見方を変えるだけで、違った様子を見せる城めぐりは、これから何度訪れても飽きることはないだろう。

さらに歴史に興味をもった私は、宿場町に目を向けた。近くには、宿場町「馬籠（まごめ）」があり、私の休日の隠れスポットとなった。少し坂はあるが、道なりには、景観を保った風情のあるお店があり、買い物や食事を楽しむことができた。その他に宿場町の歴史が分かる資料館などがあり、馬籠が故郷である島崎藤村の資料館、松尾芭蕉の句碑を目にすると、中山道を歩く人々の苦労や歴史、宿場で体を休める人々に思いを馳せるのであった。



## 1月の行事予定（※今後の情勢により変更になることもあります）

日	曜	行事予定	バス	日	曜	行事予定	バス
1	土	元日 学校閉庁日		17	月		
2	日	年始休業日 学校閉庁日		18	火	若松寺子屋②（オンライン授業9時～10時）	
3	月	年始休業日 学校閉庁日		19	水	3学期始業式	13:50
4	火			20	木		14:40
5	水			21	金	二計測、冬休み体験発表会	14:40
6	木			22	土		
7	金			23	日		
8	土			24	月	けん玉クラブ①（業間）	14:40
9	日			25	火	学力検査2回目	14:40
10	月	成人の日		26	水	学力検査2回目、スペ水	14:40
11	火			27	木	けん玉クラブ②（業間）	14:40
12	水			28	金	丹羽スキー学習①	14:40
13	木			29	土		
14	金			30	日		
15	土	冬休み行事（9:00～15:00）		31	月	児童会・委員会（業間）	14:40
16	日						